

コミュニケーションワードロゴは、コミュニケーションワード・カラーバー・追加表示文の3つをセットにしたものです。
追加表示文は使用の目的により変更することが可能です。その際は下記の規定に従い対応してください。

コミュニケーションワードロゴ

地球のいのち、つないでいこう

コミュニケーションワード



カラーバー

生物多様性

追加表示文

追加表示文の規定

地球のいのち、つないでいこう

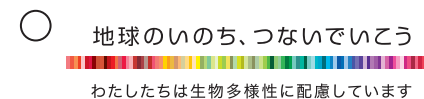


2010年国連国際生物多様性年

A
1.25A
1.25A

使用書体 和文=新ゴ R / 英文=ヒラギノ角ゴ W4 詰めアリ トラッキング110 センター揃え
(規定の書体がない場合は近似したゴシック体で代替してください)

追加表示文には、必ず「生物多様性」という5文字が含まれたものを使用してください。「生物多様性」という5文字が含まれていれば「2010年国連国際生物多様性年」というような“単語”や、「わたしたちは生物多様性年に配慮しています」というような“文章”でも可。なお、追加する単語または文章がコミュニケーションワードよりも目立ちすぎないように配慮してください。



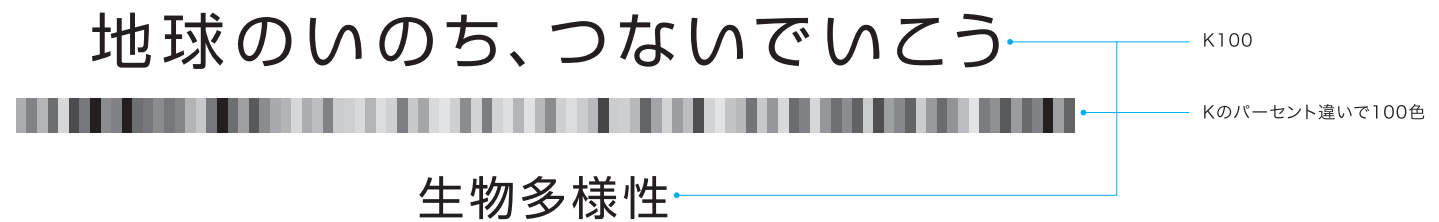
生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。
地球上には、森、里、海などさまざまなタイプの自然の中に…

コミュニケーションワードロゴの表示色は以下のとおりです。

基本表示



単色表示

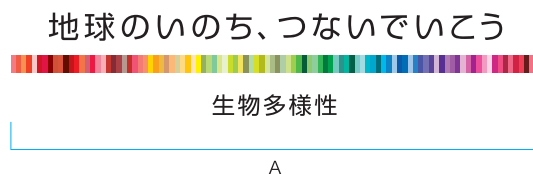


一部ネガティブ表示



コミュニケーションワードロゴは、カラーバーを表示スペースの左右幅いっぱいまで延長することで、あらゆる紙面上・画面上において“いのちのつながり”を演出することができます。
 カラーバー左右の延長率は基本形の300%までとし、それ以上延長する場合は、カラーバーを繰り返し使用してください。

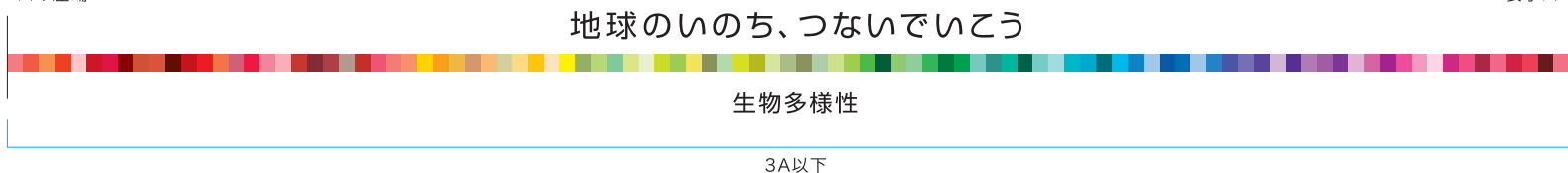
基本形



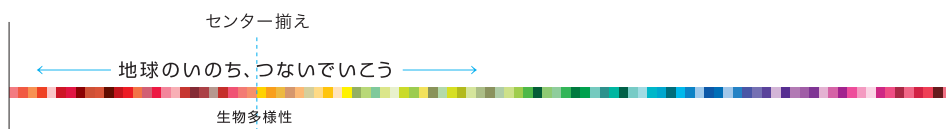
カラーバー延長形

表示スペースの左端

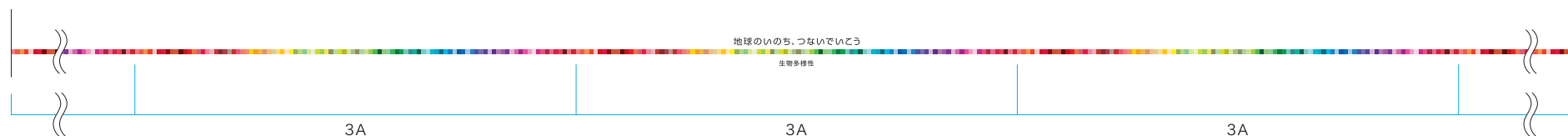
表示スペースの右端



スローガンと名称表示のセンター揃えを保持した状態で、
 カラーバーの左右内であれば置き位置は任意とします。
 表示の目的やレイアウトの都合により適宜対応してください。



カラーバー左右の延長率が基本形の300%を越える場合



コミュニケーションワードロゴは、円や弧の形状で表示することも可能です。

下記を参考に表示の目的や使用するアイテムの特性などに合わせて使い分けてください。

円形タイプ



半円タイプ



扇タイプ



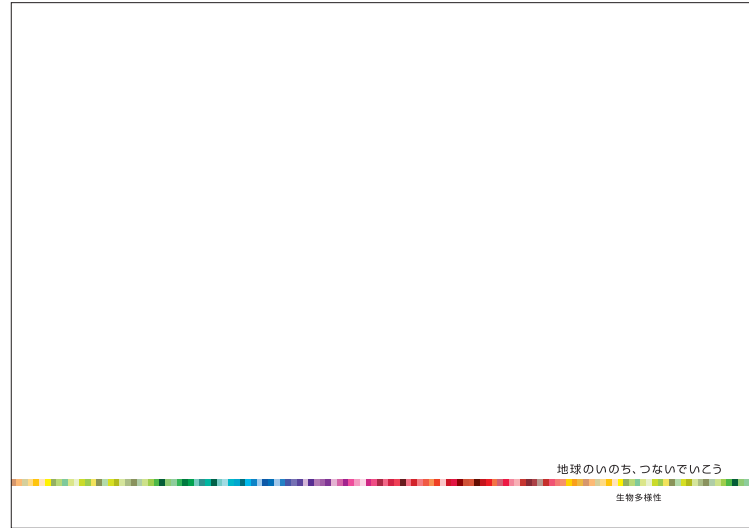
円形タイプ(特例)



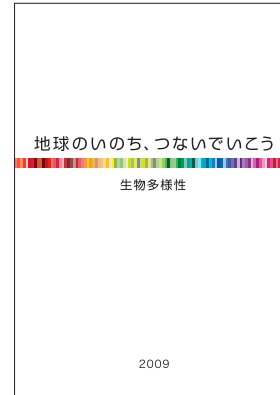
コミュニケーションワードロゴの使用例です。様々なアプリケーションアイテムに展開する際の参考にしてください。

コミュニケーションワードロゴは、グラフィックパターンとして繰り返し使用することや、カラーバーのみで使用することも可能です。

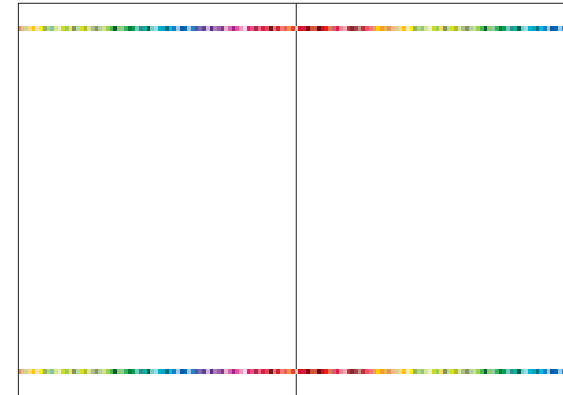
ポスター



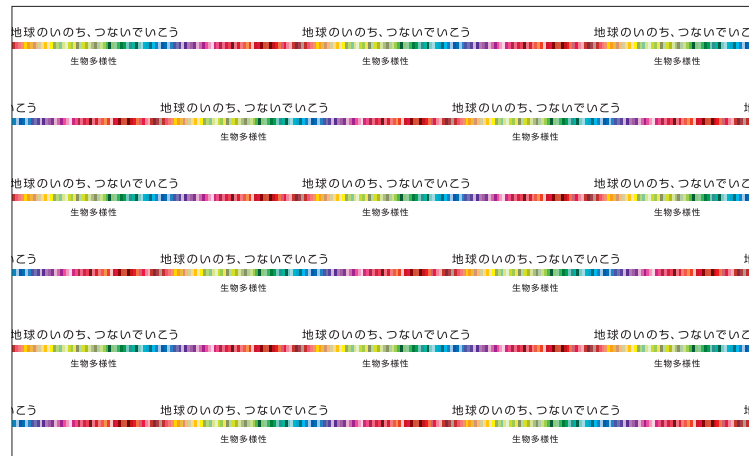
パンフレット表紙



パンフレット見開き



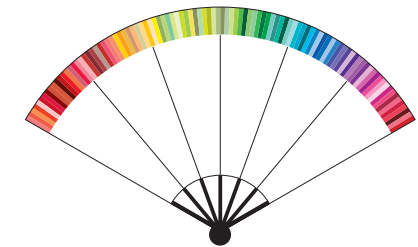
バックパネル



WEB



扇子



ワッペン



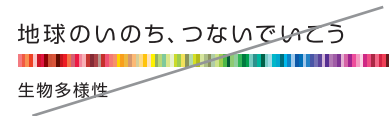
コミュニケーションワードロゴは、正しく使用されることによってはじめて本来の機能を発揮し、イメージを正しく伝達することができます。コミュニケーションワードロゴの取り扱いには十分な注意が必要です。下記のような誤った使用は避けてください。



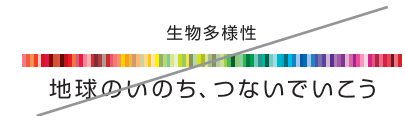
コミュニケーションワードの書体を変えてはならない。



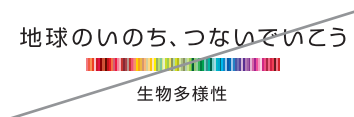
変形(斜体・長体・平体)してはならない。



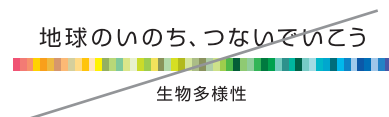
コミュニケーションワードと追加表示文のセンター揃えを崩してはならない。



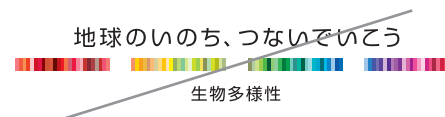
コミュニケーションワードと追加表示文の配置を変えてはならない。



カラーバーの左右を縮小してはならない。



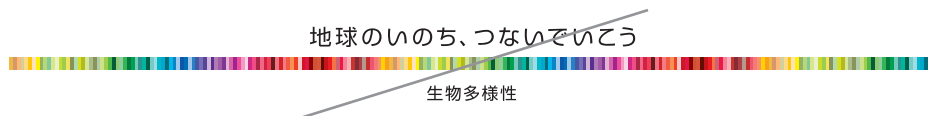
カラーバーの色数を減らしてはならない。



カラーバーを途中で切ってはならない。



カラーバーの配色の順番を変えてはならない。



カラーバーのみを繰り返し使用してはならない。(カラーバー左右の延長率が基本形の300%を越える場合のみ可)



積極的に識別を損なう表示をしてはならない。